

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月3日更新

事務事業名		消毒機械貸出事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	市民部	課長名	上山 幸顕
	施策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	環境衛生課	担当者名	石原 勝史
	基本事業	16	快適な住環境の整備			所属班	環境衛生班	(内線)	1142
予算科目		会計一般	款4	項1	目7	事業連番11471	法令根拠	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律	成果優先度評価結果：① コスト削減優先度評価結果：⑥
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	衛生害虫を駆除することにより、伝染病の予防を目的として開始した。地域からの要望により消毒機械(薬剤含む)の貸出しを行い、衛生害虫等の駆除及び快適な住環境づくりを図る。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	消毒薬剤の購入(業者選定、見積り入札、契約、購入、支払い業務)、消毒機械の点検・修理・貸出し
【主な予算費目】	需用費
【意見や要望】	住民より、消毒機の不具合や操作が難しいとの指摘がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動)22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
消毒薬剤の購入(業者選定、見積り徴収、契約、購入、支払い事務)消毒機械の点検・修理・貸し出しを行った。消毒機の貸し出し台数(延べ)154台、消毒実施世帯数2,925世帯平成22年度から消毒機械貸出事業へ名称変更した。	消毒薬剤の購入(業者選定、見積り徴収、契約、購入、支払い事務)、消毒機械の点検・修理・貸出し
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→イ 消毒機械の貸し出し数	台 消毒実施希望調査による、消毒薬剤購入に要する医薬材料費の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
家屋	(単位) ア 家屋数 戸
→イ	→イ
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
衛生害虫の駆除	(単位) ア 消毒実施世帯数 戸
→イ	→イ
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	
衛生害虫を駆除することにより、伝染病の予防を目的としており、成果指標を「消毒実施世帯数」と設定した。平成23年度目標値は現状の消毒実施世帯数で推移すると考え「2,900世帯」と設定した。	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア	台	468	557	600	154	180	180	180
	イ								
	ア	戸	19,974	20,276	20,400	20,400	20,600	20,800	21,000
② 対象指標	イ								
	ア	戸	2,692	3,287	3,100	2,925	2,900	2,900	2,900
③ 成果指標	イ								
	ア	戸							
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円	1,457	1,466	2,550	2,523	2,929	2,929	2,929
人件費	(A)事業費計	千円	1,457	1,466	2,550	2,523	2,929	2,929	2,929
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	3	7	5	7	5	5	5
延べ業務時間	時間	480	491	500	128	500	500	500	
	(B)人件費計	千円	1,920	1,954	1,990	527	2,060	2,060	2,060
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,377	3,420	4,540	3,050	4,989	4,989	4,989

総トータルコスト
全体計画
～年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0

事務事業名	消毒機械貸出事業	所属部	市民部	所属課	環境衛生課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE) *原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 以前に比べると消毒機械による家屋の消毒は、減っており、実施した行政区も81行政区中29行政区であった。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 消毒実施希望調査を事前に行い対象世帯数を把握しているが、ここ数年、実施世帯が減ってきていることもあり目標達成は難しい。	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ⇒
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 消毒を実施する世帯が減少してきている。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業なし。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ⇒
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 事業費は事前に調査した消毒用薬剤の費用(一世帯あたり約200CC)及び機械の修理及び年一回の点検の費用を計上しており、削減は困難。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 消毒機械の貸し出しや点検整備、薬剤購入事務にかかる時間であり削減は困難。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 消毒を行わない家屋が増えているので、受益者負担を検討する余地がある。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ⇒
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第28条に規定する発生予防の目的に資するので適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ⇒

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成22年度は、延べ貸出し台数154台、2,925世帯の消毒を実施し、衛生害虫等の駆除及び快適な住環境づくりに努めた。消毒実施世帯数は現状の2,900世帯で推移すると考えられる。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>これまで家庭における害虫駆除及び伝染病の予防として屋内・屋外の消毒を行ってきたが、近年、他の自治体でも実施世帯が少なくなっている。本市においても2,900世帯程度で推移していくと推測される。そのため、事業の公平性を検討し、現状維持か廃止等について検討をする必要がある。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>平成21年度の経済危機対策事業で消毒機械を10台購入した。現在保有している23台のうち20台を貸し出している。消毒機械は、緊急の感染予防のため所有しておく必要がある。</p>																						